

## 5-30 交通渋滞

### 5-30-1 現況

東京は、我が国の政治・経済・文化の中心として様々な機能が集積する一方で、過密による慢性的な交通渋滞の発生が課題となっている。

国土交通省によると、関東地方の主要渋滞ポイント※の分布は図 5-30-1 に示すとおりであり、関東地方の約 900 箇所の主要渋滞ポイントのうち、その約 600 箇所が首都圏中央連絡自動車道路（圏央道）内側に集中している。

道路別混雑時旅行速度の状況は図 5-30-2(p5-30-2)に示すとおりであり、8 km 圏内を含む東京都区部は人口集中と都市機能の集積に伴い、混雑時における自動車の旅行速度は、16.8 km/h となっており、全国平均（35.1 km/h）を大きく下回っている。

また、各会場周辺の道路交通量については図 5-30-3(p5-30-3～5-30-6)に示すとおりである。

※主要渋滞ポイント：渋滞距離や通過時間を基準として以下の定義によって抽出された箇所並びに関連する箇所をいう。

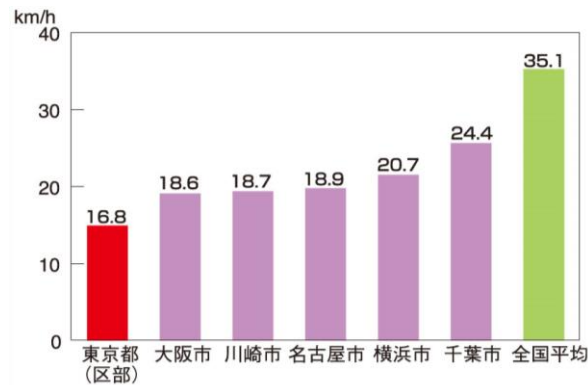
- ・人口集中地区における一般道路において渋滞長が 1,000m 以上又は通過時間が 10 分以上
- ・人口集中地区以外の一般道路において渋滞長が 500m 以上又は通過時間が 5 分以上
- ・高速自動車国道ではインターチェンジの出入り口においてボトルネックとなっている箇所  
渋滞回数 30 回/年以上又は平均渋滞長概ね 2 km 以上の箇所



出典：「平成 17 年度道路交通センサス」（国土交通省道路局ホームページ）、

東京都第 3 次渋滞対策プログラム

図 5-30-1 関東地方(左)、東京都（右）における主要渋滞ポイントの分布状況



出典：東京都建設局ウェブサイト (<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/douro/gaiyo/01.html>)

「平成 22 年度 全国道路交通情勢調査」より作成

図 5-30-2 混雑時の平均旅行速度の状況（東京都区部と他都市との比較）

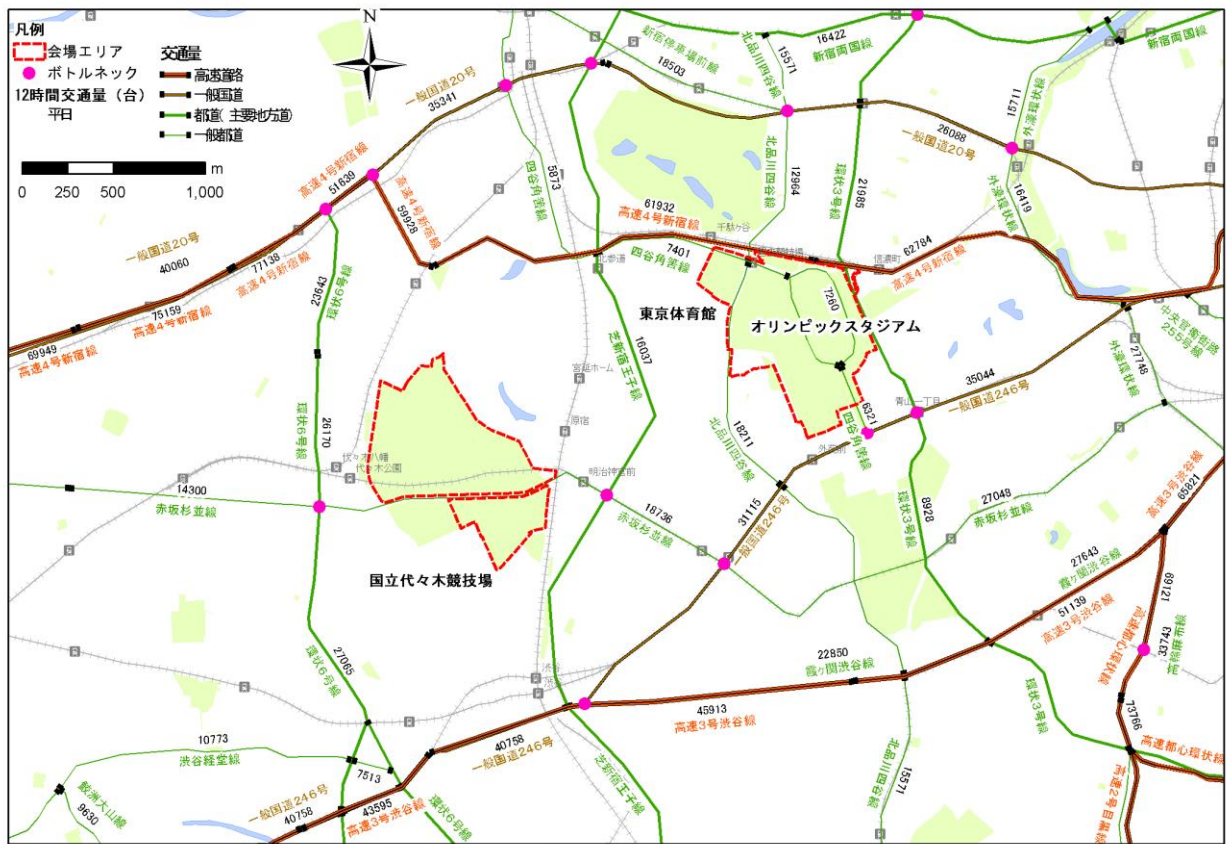
8 km 圏内の主要な道路交通量及び東京都第 3 次渋滞対策プログラムで定めているボトルネック箇所の状況は、図 5-30-3 (p5-30-3～5-30-6) に示すとおりである。

主要な道路としては、高速都心環状線、高速 1 号羽田線、高速 2 号目黒線、高速 3 号渋谷線、高速 4 号新宿線、高速 5 号池袋線、高速 6 号向島線、高速 7 号小松川線、高速湾岸線、高速 9 号深川線、高速 11 号台場線、高速中央環状線がある。

会場周辺の幹線道路のうち、平日の 12 時間交通量が最も多い道路は、高速湾岸線（江東区新木場 1 丁目）で 113,530 台となっている。

また、ボトルネックが多く見られている箇所は高速 4 号新宿線、一般国道 1 号、一般国道 20 号、一般国道 246 号等の都心に向かう放射方向の高速道路、幹線道路となっている。

首都圏では、特に高速道路において放射方向の道路に比べ環状方向の整備が遅れている。このことにより、通過交通が都心部に集中して交通分散が図れず渋滞し、また高速道路を避けて周辺の幹線道路に交通が流入することで、周辺の幹線道路も渋滞している。



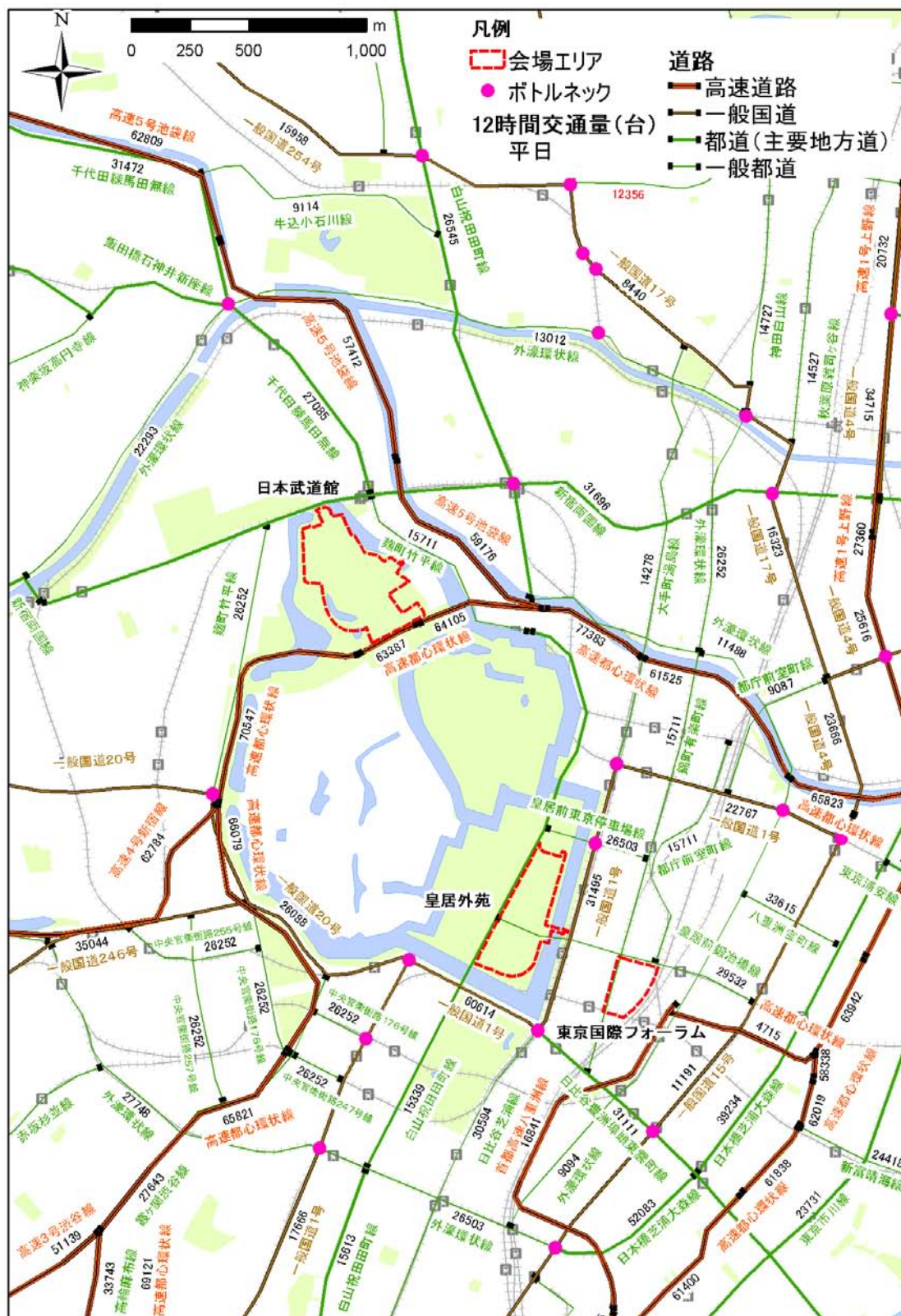
出典：東京都建設局「平成 22 年度道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査）一般交通量調査結果」  
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/douro/sensasu/sensasu.htm> より作成

図 5-30-3(1) 各会場の道路交通量の状況（オリンピックスタジアム、国立代々木競技場）



出典：東京都建設局「平成 22 年度道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査）一般交通量調査結果」  
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/douro/sensasu/sensasu.htm> より作成

図 5-30-3(2) 各会場の道路交通量の状況（東京ベイゾーンの会場周辺）



出典：東京都建設局「平成 22 年度道路交通センサス（全国道路・街路交通情勢調査）一般交通量調査結果」  
<http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/douro/sensasu/sensasu.htm> より作成

図 5-30-3(3) 各会場の道路交通量の状況（ヘリテッジゾーンの会場周辺）



## 5-30-2 予測評価（競技別）

### (1) 評価の指標及び目安

競技別検討における評価の指標及び目安は、表 5-30-1 に示すとおりである。

表 5-30-1 評価の指標及び目安

| 評価の指標         | 評価の基準              | 評価の目安 |             |          |           |     |
|---------------|--------------------|-------|-------------|----------|-----------|-----|
|               |                    | - 2   | - 1         | 0        | + 1       | + 2 |
| ボトルネックの解消又は継続 | 現在の交通渋滞及びボトルネックの状況 | -     | ボトルネックの新規発生 | 現況と変わらない | ボトルネックの解消 | -   |

### (2) 予測評価の方法

予測評価の対象となる競技は、屋外で実施され、なおかつ会場の敷地外の道路を使用する陸上競技（マラソン）、陸上競技（競歩）、自転車（ロード・レース）、トライアスロンを対象とし、これらの競技の影響による開催中（競技の実施による影響）におけるボトルネックの解消又は継続についての評価を行った。

屋外競技による道路交通規制等の詳細計画が未定であることから、予測評価は、東京都の運営計画や既存のスポーツイベント時における道路施策等をもとに定性的な予測評価を行った。

表 5-30-2 予測評価方法（競技別）

| 予測評価の時期 |            | 予測評価の方法                                                                          |
|---------|------------|----------------------------------------------------------------------------------|
| 開催中     | 競技の実施による影響 | 屋外で実施され、なおかつ会場の敷地外の道路を使用する競技について、東京都の運営計画や既存のスポーツイベント時における道路施策等をもとに定性的な予測評価を行った。 |

### (3) 予測評価の結果

#### 1) 開催中（競技の実施による影響）

##### ① 一次評価

競技で会場の敷地外の道路を使用する際には、一時的な交通規制を行うため、迂回路の設定、事前の広報などの渋滞緩和計画を立てない場合には、交通渋滞が慢性化している都心部の交通流を更に悪化させる可能性がある。

各競技における予測結果は以下のとおりである。

#### (イ) マラソン

マラソンの競技コースは図 5-30-4(1) (p5-30-9) に示すとおりであり、オリンピックスタジアムを起点として、外堀通り、内堀通り、日比谷通り、中央通り、靖国通り、江戸通りを通過するルートとなっている。皇居周辺は東京の中心部であり、日本を代表するビジネス街となっており、沿道の多くが高層化された商業地となっている。

マラソンの競技コースとなっている一般国道 1 号、一般国道 4 号、一般国道 15 号等の主要幹線道路は、交通量が集中しており、現状においてボトルネックの発生箇所となっている。事前の渋滞緩和計画等の対策なしに、これらの道路を競技コースとして用いる場合には、周辺の道路に交通量が集中し、慢性化している交通渋滞を更に悪化させる可能性があると考えられる。したがって、マラソンに対する評価結果は「－ 1」とした。

#### (ロ) 競歩

競歩の競技コースは、図 5-30-4(2) (p5-30-9) に示すとおりであり、オリンピックスタジアムを起点として、外苑西通り、青山通り（一般国道 246 号）を通過するルートとなっている。外苑西通りの沿道は商用地やマンションが多く住宅街が広がっており、青山通りの沿道はオフィス街、ファッション街となっている。

競技コースとなっている一般国道 246 号は、神奈川県側と都心を結ぶ主要な幹線道路であり、交通量が集中しており、現状においてボトルネックの発生箇所となっている。事前の渋滞緩和計画等の対策なしに、これらの道路を競技コースとして用いる場合には、周辺の道路に交通量が集中し、慢性化している交通渋滞を更に悪化させる可能性があると考えられる。したがって、競歩に対する評価結果は「－ 1」とした。

#### (ハ) 自転車競技（ロード・レース）

自転車競技（ロード・レース）の競技コースは、図 5-30-4(3) (p5-30-10) に示すとおりであり、皇居外苑を起点として、甲州街道（一般国道 20 号）を西進し、稲城大橋を南下、川崎街道（都道 9 号、都道 41 号）を西進し関戸橋を渡り、甲州街道等を東進して武蔵野の森公園を終点とするルートとなっている。

主な競技コースとなっている一般国道 20 号は、東京都市部と都心を結ぶ主要な幹線道路であり、交通量が集中しており、現状においてボトルネックの発生箇所となっている。事前の渋滞緩和計画等の対策なしに、これらの道路を競技コースとして用いる場合には、周辺の道路に交通量が集中し、慢性化している交通渋滞を更に悪化させる可能性があると考えられる。したがって、自転車競技（ロード・レース）に対する評価結果は「－ 1」とした。

#### (ニ) トライアスロン／パラトライアスロン

トライアスロン／パラトライアスロンの競技コースは、図 5-30-4(4) (p5-30-10) に示すとおりであり、お台場海浜公園を起点として、お台場及び青海の商業地区を周回するルートとなっている。お台場・青海は臨海副都心としての事業開発が進み、アミューズメント施設や商業施設が街並み全体に立ち並ぶ都心の観光スポットとなっている。これらの道路を競技コースとして用いる場合には、お台場地区の大部分について交通規制が掛かることで周辺の道路に交通量が集中し、新たな交通渋滞を引き起こす可能性があると考えられる。したがって、トライアスロン／パラトライアスロンに対する評価は「－ 1」とした。

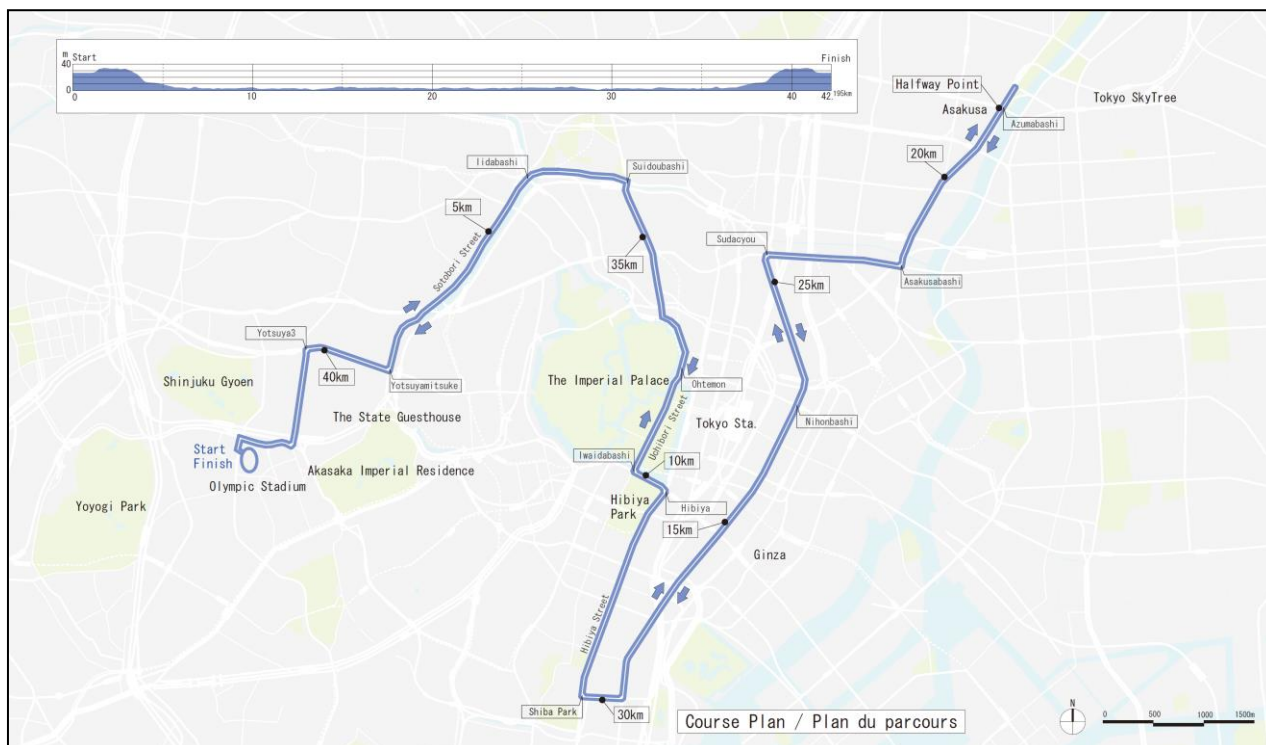


図 5-30-4(1) 屋外競技コース：陸上競技（マラソンコース）

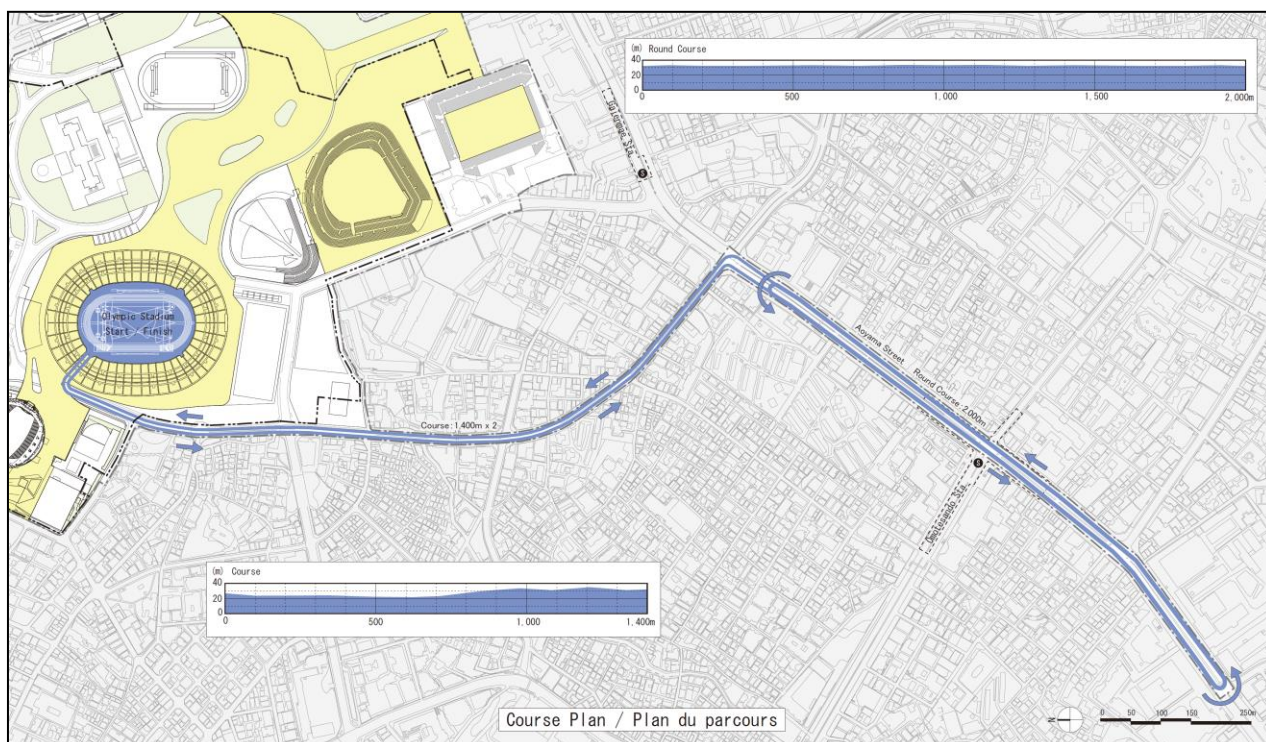


図 5-30-4(2) 屋外競技コース：陸上競技（競歩コース）

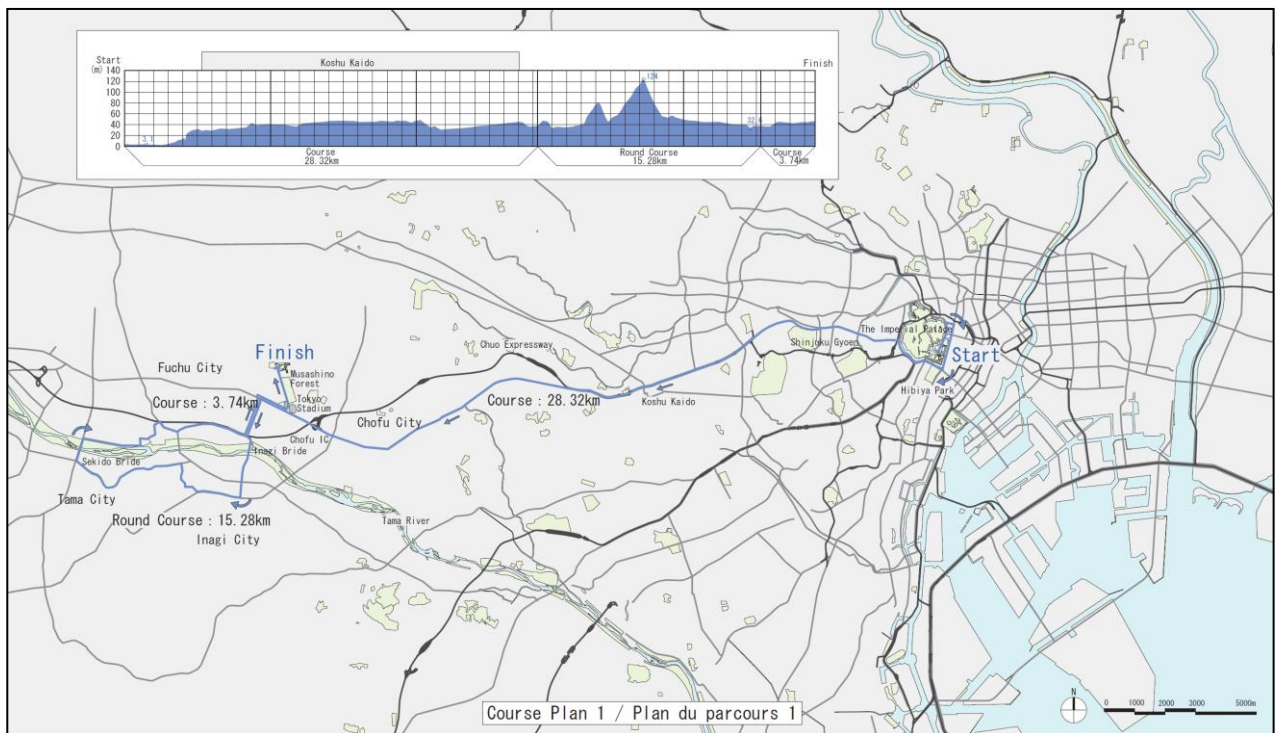


図 5-30-4(3) 屋外競技コース：自転車競技（ロード・レースコース）

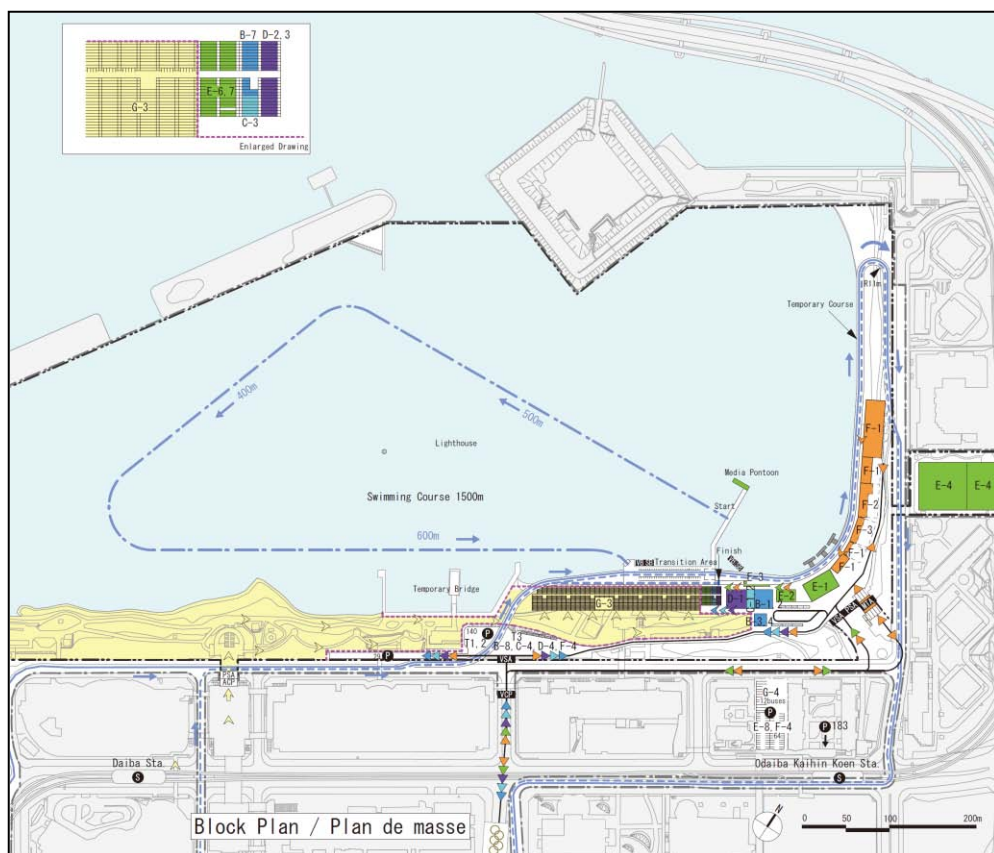


図 5-30-4(4) 屋外競技コース：トライアスロンコース

## ② ミティゲーション

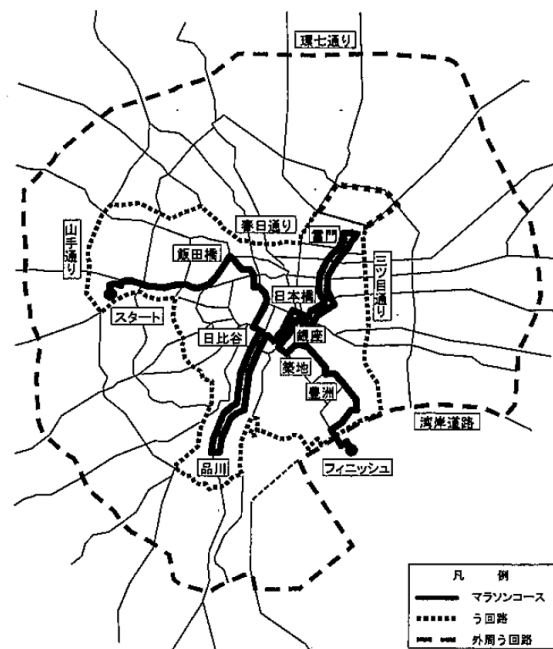
### (a) 東京マラソンにおける対策・実績

都内の沿道を利用する大規模スポーツイベントとして、東京マラソンにおける対策・実績を以下に整理した。

東京マラソンは、東京都心部におけるフルマラソンとして実施された国内最大規模の市民マラソンであり、約3万5千人の一般市民が参加している。マラソンコースは、東京都庁をスタート地点とし、皇居前、銀座、浅草雷門などの観光名所を經由して東京ビッグサイトをフィニッシュ地点としたものである（図 5-30-5）。

東京マラソンの実施による広範囲・長時間の交通規制により交通渋滞の影響が予測されることから、これまでに表 5-30-3 に示すような様々な対策が実施されており、一般の都市交通と共存しながら円滑な競技の実施がなされている。

| 項 目     | 内 容                                                                                   |
|---------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 競技種目    | マラソン、10 km                                                                            |
| 参加人員    | 約 35,000 人<br>マラソン 約 30,000 人<br>10 km 約 5,000 人                                      |
| 制限時間    | マラソン 7 時間<br>10 km 1 時間 40 分                                                          |
| 開始・終了時間 | スタート<br>車いす 9 時 5 分<br>マラソン、10 km 9 時 10 分<br>フィニッシュ 16 時 10 分                        |
| コース     | マラソン<br>東京都庁～飯田橋～皇居前～日比谷～品川～銀座～日本橋～浅草雷門～築地～豊洲～東京ビッグサイト<br>10 km<br>東京都庁～飯田橋～皇居前～日比谷公園 |
| 規制内容    | コース及びコース直近の道路は車両通行止め                                                                  |
| 規制時間    | ランナーの走行時間及びその前後の時間                                                                    |



出典：椎名康雄「「東京マラソン」開催に伴う交通対策」（平成 21 年 7 月、交通工学、Vol. 44、No.4、p 116-120）

図 5-30-5 東京マラソン 2009 の概要とコース及び迂回路

表 5-30-3 東京マラソンにおける交通対策の内容

| ミティゲーシヨンの内容 |                                                                                                                                   |
|-------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【東京マラソン】    |                                                                                                                                   |
| ○交通規制の実施    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・マラソンコースの交通規制</li> <li>・交差道路の交通規制</li> <li>・歩道橋、地下鉄出入口を利用した歩行者のコース横断への広報の徹底</li> </ul>     |
| ○流入抑制対策の実施  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・コース外側の幹線道路（山手通り・三ツ目通り等）を迂回路・外周迂回路として設定</li> <li>・対象迂回路の都心流入方向への信号青秒数の削減による流入抑制</li> </ul> |
| ○交通円滑化対策の実施 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・信号秒数の調整等による円滑化</li> </ul>                                                                 |
| ○広報対策の実施    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報誌、チラシ、ホームページ、横断、テレビラジオ放送等により、交通規制の実施・迂回路の案愛、自動車利用の自粛に関する広報</li> </ul>                   |

出典：椎名康雄「「東京マラソン」開催に伴う交通対策」（平成 21 年 7 月、交通工学、Vol.44、No.4、p 116－120）

東京マラソンの開催日と、開催前年 2 月の交通状況の比較は表 5-30-4 に示すとおりであり、開催当日は、いずれの年についても、2006 年 2 月日曜平均に比べ、走行台キロ、渋滞長時間※ともに減少しており、交通の混乱はみられなかった。これは、マラソン開催に伴う交通規制の各種広報の徹底により、道路利用者の理解を得られて交通量の抑制等につながったものと考えられる。

※走行台キロ…自動車走行距離（走行台数×走行距離）の総和による道路交通量の指標

※渋滞長時間…渋滞長(km)に、渋滞が継続した時間を乗じた渋滞の指標

表 5-30-4 東京マラソンの開催日と 2 月の交通状況の比較

| 比較日 \ 環七通以内の地域          | 走行台キロ | 渋滞長時間 |
|-------------------------|-------|-------|
| 2006 年 2 月平日平均          | 145   | 416   |
| 2006 年 2 月日曜平均          | 100   | 100   |
| 開催日 2007 年（2 月 18 日（日）） | 76    | 37    |
| 開催日 2008 年（2 月 17 日（日）） | 84    | 53    |
| 開催日 2009 年（3 月 22 日（日）） | 84    | 51    |

※調査日は 7 時～17 時の 10 時間

対象道路は地域内の主要な一般道路

数値は開催前年の 2006 年 2 月の日曜平均を 100 とした指数で示している

#### (b) 2020 年東京大会の輸送に関する組織体制

2020 年東京大会の各段階における輸送に関する組織体制を図 5-30-6 に示す。

（計画段階）

東京都は、オリンピック開催都市決定後速やかに、輸送計画の策定等を行う組織としてオリンピック輸送センター（O T C : Olympic Transport Centre）を設置する。また、同センターの諮問機関としてオリンピック交通輸送専門委員会（O T S C : Olympic

Transport Specialty Committee) を設置する。

オリンピック輸送センターは、インフラ整備調整部門、交通輸送調整部門、大会関係者輸送システム部門等より構成され、オリンピック交通輸送専門委員会が示す基本方針を受け、大会組織委員会のセキュリティや宿泊など各部門等と連携し、詳細かつ具体的な輸送運営計画を策定するとともに、オリンピックに関連する輸送インフラ整備の進捗調整等を行う。

オリンピック交通輸送専門委員会は、オリンピック輸送センター直属の組織として、国土交通省、警察庁等の政府機関、東京都及び関係自治体、警視庁及び関係道府県警察、高速道路会社、交通事業者、学識経験者、及び、オリンピック輸送センターと同時期に設置される大会組織委員会の代表者等によって構成され、輸送に関する基本方針を策定するとともに、各機関の合意形成の場として活用される。

(実施段階)

大会実施前に、オリンピック輸送センターの組織を、大会関係者輸送システム部門を選手輸送システム部門など各システム別に再編し、輸送運営体制を大幅に拡充する。

オリンピック輸送センターの各部門は、IOC、IF、観客等の各クライアント固有のニーズを十分に踏まえ、大会組織委員会内の部門や各輸送機関、及び交通規制を担う警視庁と連携し、実施準備や運営テスト、大会期間中の輸送運営業務の円滑な実施にあたる。

また、オリンピック交通輸送専門委員会は大会輸送運営計画が円滑に実施されているかオリンピック輸送センターを管理するとともに、大会中における重要事項の合意形成の場として活用される。

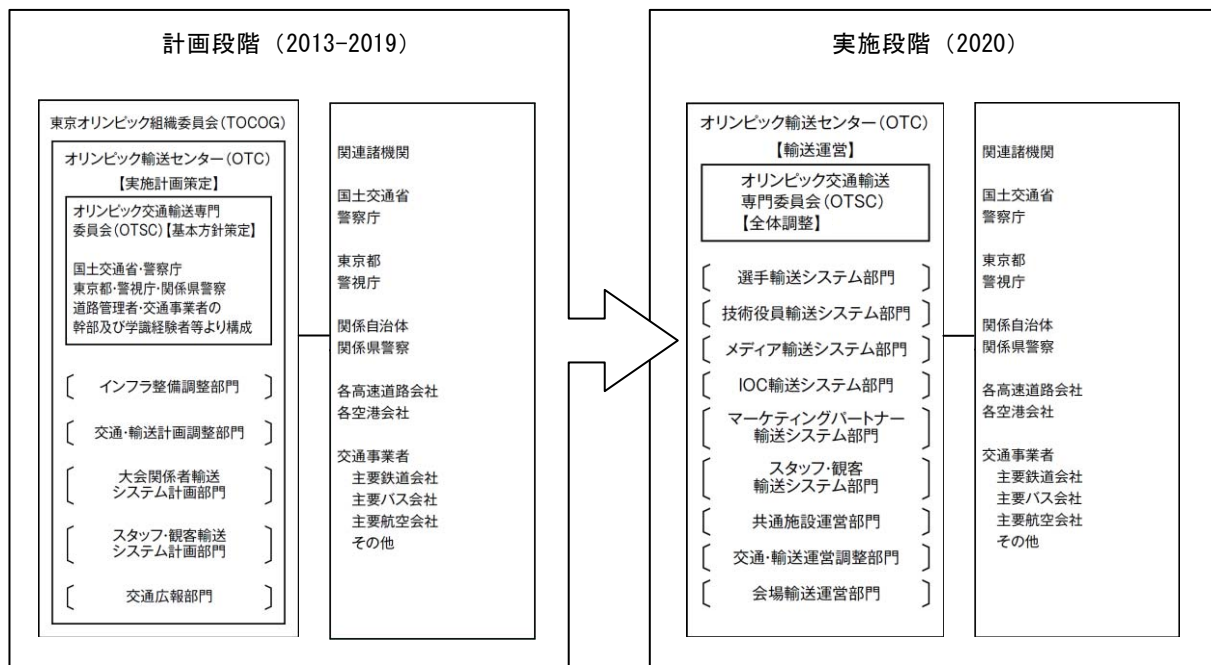


図 5-30-6 2020 年東京大会の輸送に関する組織体制

(c) 2020 年東京大会での交通渋滞対策

新たな交通混雑やボトルネックの発生を抑えるための交通渋滞に関するミティゲーションの内容は表 5-30-5、表 5-30-6 (p5-30-16) に示すとおりであり、2020 年東京大会の開催時において、オリンピック・レーン等の設定、高度交通システムの導入、交通管制の実施及び一般車両の流入抑制等により、競技開催時の交通輸送の円滑化を図る。

なお、各競技における具体的な交通渋滞に関するミティゲーションについては、事業実施段階における計画の具体化に併せて検討するものとする。

表 5-30-5(1) 交通渋滞に関するミティゲーションの内容（開催時の交通規制等）

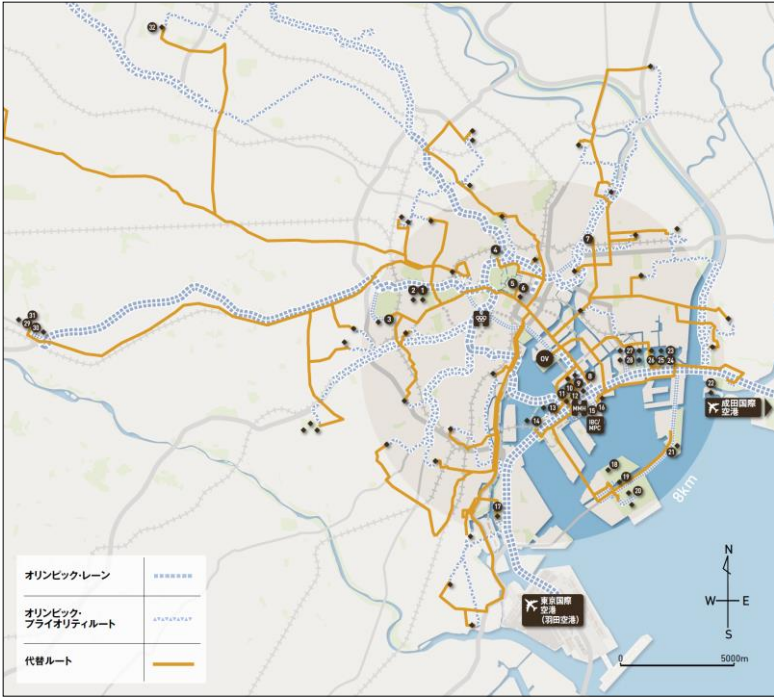
| 会場区分      | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全会場<br>共通 | <p>【開催時の交通規制等】</p> <p>○オリンピック・レーン等の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての競技会場や練習会場、オリンピック主要施設および空港等は、慎重に設定されたオリンピック・レーン及びオリンピック・プライオリティ・ルートにより接続される。</li> <li>オリンピック・レーンは選手村と競技会場、主要施設及び空港とを結ぶ路線に設定され、オリンピック・プライオリティ・ルートは、選手村と練習会場とを結ぶ路線に設定される。</li> </ul> <p>(オリンピック・レーン：約 317 km)</p> <p>指定された大会関係車両が専用に使用する車線。このうち、約 150 kmについては、選手村と成田国際空港及び武蔵野の森地区を結ぶために設定された路線である。</p> <p>(オリンピック・プライオリティ・ルート：約 290 km)</p> <p>指定された大会関係車両が優先的に走行可能な道路</p> <p>○代替ルートの用意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京の高密度な道路網を活用し、主要ルートに支障をきたすような不測の事態に対応可能な高速道路・主要幹線道路を代替ルートとして数多く用意する。また、ルート変更等を迅速に周知可能なカーナビゲーションシステムをすべての大会車両に搭載し、大会関係者の円滑かつ確実に不断な移動を保証するようにする。</li> </ul>  |

表 5-30-5(2) 交通渋滞に関するミティゲーションの内容(開催時の交通規制等)

| 会場区分              | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|-------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>全会場<br/>共通</p> | <p>【開催時の交通規制等】</p> <p>○交通管制の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催時には、警視庁交通管制センターがオリンピック輸送センターと連携して半径 8 km 圏内外の交通流等を制御し、核輸送システムの定時性・信頼性を確保する。具体的には、オリンピック輸送センターに集積した選手の移動情報や道路の渋滞情報を基に、警視庁交通管制センターが必要に応じて、信号の制御などの交通管制により交通流量等を調整する。</li> <li>・公共車両優先システム（PTPS）を用いて、バス等の優先走行を確保する。</li> </ul> <p>○交通需要の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催時における大会関係車両の定時運行の確保と一般の市民生活や経済活動への影響を最小限とするため、関係機関と連携し、交通量約 10% の低減を目標に、一般車両の都心部への流入を抑制する交通需要マネジメントを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報キャンペーンを通じた、代替ルートの利用の奨励</li> <li>・公共交通機関の積極的利用の呼びかけ</li> <li>・企業の夏季休暇時期及び業務時間の調整</li> <li>・企業への納品時間の変更要請</li> <li>・市民への需要抑制の協力依頼等の実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○会場周辺の駐車抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場周辺における駐車抑制については、事前の交通対策の広報や、警察による交通規制及び違法駐車取り締まり等を実施する。</li> <li>・車で来場希望の観客には、パーク＆ライドを提供する。観客は、東京郊外に設置する専用駐車場で無料の公共交通機関に乗り換え、各競技会場にアクセスする。チケット購入時には、パーク＆ライドの利用も一括予約できる体制を整える等、観客によって利便性の高いシステムを構築する。</li> </ul> <p>○観客及び一般市民への輸送情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会期間中の交通手段の周知によって公共輸送機関の利用促進を図るため、大会開催の 1 年前から、パンフレット、新聞、テレビ、インターネット等を通じた広報活動を開始する。さらに、6 カ月前からは集中的なキャンペーンを行う。大会に伴う交通により影響を受ける地域住民には代替交通手段について役立つ情報を提供し影響を最小限に抑える。</li> <li>・大会開催期間中は、オリンピック輸送センターが警視庁交通管制センター、鉄道事業者等と連携してカーナビゲーションシステムや鉄道の車両情報システム等を通じて様々な交通情報を情報提供する。</li> </ul> |

表 5-30-6 交通渋滞に関するミティゲーションの内容（道路交通システムの導入）

| 会場区分               | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |
|--------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------------------------|
| 全会場<br>共通          | <p>【道路交通システムの導入】</p> <p>○高度道路交通システム（ITS）の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京では、最先端の情報通信技術を駆使したITSにより、交通管理の効率化や道路交通の安全性、効率性、快適性の向上を実現しており、これらの技術基盤を最大限に活用して効率的に輸送システムの運営を行う。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>道路交通情報通信システム（VICS）</td><td>VICSは、カーナビゲーションシステムの画面上に道路の渋滞などの状況を踏まえた最適な走行ルートを表示するシステムであり、日本においては既に約3,400万台の車に搭載されるなど広く普及しているシステムである。<br/>2020年東京大会においては、最新鋭のサービスを利用可能なカーナビゲーションシステムを全車両に搭載し、安心で信頼性の高い関係者への輸送サービスを提供する。</td></tr> <tr> <td>自動料金収受システム（ETC）</td><td>ETCは、料金所に停車することなく自動的に料金を収受するシステムであり、東京に（首都高速道路）における利用率は既に約9割に達している。2020年東京大会においては、全大会関係車両に搭載し、円滑な大会関係者の移動を実現する。</td></tr> </table> <p>・交通管制面では、下記の機能から構成される、警察が推進する新交通管理システム（UTMS）が中心的な役割を果たす。</p> <table border="1"> <tr> <td>交通情報提供システム（ITCS）</td><td>車両感知器等から収集した交通情報を基に、最適な信号制御を行うシステムであり、物流の効率化、大量公共輸送機関の利用促進など円滑で安全な交通輸送を実現する。</td></tr> <tr> <td>交通情報提供システム（AMIS）</td><td>都内の道路に設置している光ビーコン、交通情報収集カメラなどを2020年までに増設し、収集する交通情報をさらに高密度化・高性能化し、ドライバーに対して、渋滞、交通規制、目的地までのりよこ時間などの交通情報を、光ビーコンや情報板等を通じてリアルタイムに提供する。</td></tr> <tr> <td>公共車両優先システム（PTPS）</td><td>信号制御などにより、バスなどの公共車両の優先的通行を実施し、定時性を確保するシステムであり、バスなどの運行状況を把握しつつ、一般道路交通の流れと、公共車両を適切に管理することにより、円滑な輸送を実現する。</td></tr> <tr> <td>車両運行管理システム（MOC S）</td><td>第18回長野オリンピック冬季競技大会においても活用された物流の効率化を図るシステムであり、大会時においても活用される。</td></tr> </table> | 道路交通情報通信システム（VICS） | VICSは、カーナビゲーションシステムの画面上に道路の渋滞などの状況を踏まえた最適な走行ルートを表示するシステムであり、日本においては既に約3,400万台の車に搭載されるなど広く普及しているシステムである。<br>2020年東京大会においては、最新鋭のサービスを利用可能なカーナビゲーションシステムを全車両に搭載し、安心で信頼性の高い関係者への輸送サービスを提供する。 | 自動料金収受システム（ETC） | ETCは、料金所に停車することなく自動的に料金を収受するシステムであり、東京に（首都高速道路）における利用率は既に約9割に達している。2020年東京大会においては、全大会関係車両に搭載し、円滑な大会関係者の移動を実現する。 | 交通情報提供システム（ITCS） | 車両感知器等から収集した交通情報を基に、最適な信号制御を行うシステムであり、物流の効率化、大量公共輸送機関の利用促進など円滑で安全な交通輸送を実現する。 | 交通情報提供システム（AMIS） | 都内の道路に設置している光ビーコン、交通情報収集カメラなどを2020年までに増設し、収集する交通情報をさらに高密度化・高性能化し、ドライバーに対して、渋滞、交通規制、目的地までのりよこ時間などの交通情報を、光ビーコンや情報板等を通じてリアルタイムに提供する。 | 公共車両優先システム（PTPS） | 信号制御などにより、バスなどの公共車両の優先的通行を実施し、定時性を確保するシステムであり、バスなどの運行状況を把握しつつ、一般道路交通の流れと、公共車両を適切に管理することにより、円滑な輸送を実現する。 | 車両運行管理システム（MOC S） | 第18回長野オリンピック冬季競技大会においても活用された物流の効率化を図るシステムであり、大会時においても活用される。 |
| 道路交通情報通信システム（VICS） | VICSは、カーナビゲーションシステムの画面上に道路の渋滞などの状況を踏まえた最適な走行ルートを表示するシステムであり、日本においては既に約3,400万台の車に搭載されるなど広く普及しているシステムである。<br>2020年東京大会においては、最新鋭のサービスを利用可能なカーナビゲーションシステムを全車両に搭載し、安心で信頼性の高い関係者への輸送サービスを提供する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |
| 自動料金収受システム（ETC）    | ETCは、料金所に停車することなく自動的に料金を収受するシステムであり、東京に（首都高速道路）における利用率は既に約9割に達している。2020年東京大会においては、全大会関係車両に搭載し、円滑な大会関係者の移動を実現する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |
| 交通情報提供システム（ITCS）   | 車両感知器等から収集した交通情報を基に、最適な信号制御を行うシステムであり、物流の効率化、大量公共輸送機関の利用促進など円滑で安全な交通輸送を実現する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |
| 交通情報提供システム（AMIS）   | 都内の道路に設置している光ビーコン、交通情報収集カメラなどを2020年までに増設し、収集する交通情報をさらに高密度化・高性能化し、ドライバーに対して、渋滞、交通規制、目的地までのりよこ時間などの交通情報を、光ビーコンや情報板等を通じてリアルタイムに提供する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |
| 公共車両優先システム（PTPS）   | 信号制御などにより、バスなどの公共車両の優先的通行を実施し、定時性を確保するシステムであり、バスなどの運行状況を把握しつつ、一般道路交通の流れと、公共車両を適切に管理することにより、円滑な輸送を実現する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |
| 車両運行管理システム（MOC S）  | 第18回長野オリンピック冬季競技大会においても活用された物流の効率化を図るシステムであり、大会時においても活用される。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |                    |                                                                                                                                                                                          |                 |                                                                                                                 |                  |                                                                              |                  |                                                                                                                                   |                  |                                                                                                        |                   |                                                             |

(d) 道路整備等による交通渋滞対策

道路整備等による交通渋滞対策は表 5-30-7 に示すとおりである。三環状道路をはじめとする道路ネットワーク整備により、区部の平均旅行速度が現況よりも上昇し、交通渋滞を緩和することができる。

表 5-30-7 交通渋滞に関するミティゲーションの内容

| 会場区分      | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全会場<br>共通 | <p>【計画中の輸送インフラの整備】</p> <p>東京都は、新たな都心戦略である「2020 年の東京」やその他各種計画を策定し、様々な主要な輸送インフラの整備を進めている。こうした整備は、2020 年東京大会とは関係なく、都市の戦略的な計画の一環として実行されるものであるが、2020 年東京大会の計画及びビジョンはこれに沿ったものとしているため、2020 年東京大会に必要な輸送インフラサービスが効果的に提供される。</p> <p>整備が進められている主な輸送インフラは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・東京都は、交通渋滞を解消するため、2020 年までに三環状道路の約 9 割を完成させる等のネットワークの整備を強力に推進する。首都高速中央環状品川線は 2013 年度に完成する予定である。</li><li>・首都高速晴海線は 2015 年に完成予定であり、大会開催時には選手村と各種競技場を結ぶ重要な輸送ルートの一部となる。首都高速晴海線により移動時間が大幅に改善され、例えば、選手村から夢の島競技場までの所要時間は、現在の 15 分から 10 分に短縮される。</li><li>・環状 2 号線は、2020 年までに完成し、オリンピックスタジアムパークや選手村と I O C ホテルを結ぶ大動脈となり、大会開催時にはオリンピック・レーンも設置することにより、移動時間を大幅に短縮される。例えば、選手村からオリンピックスタジアムまでの所要時間は、15 分短縮し、10 分となる。</li><li>・環状 3 号線は、オリンピックスタジアムパークや東京体育館に接続する主要幹線道路となる。</li></ul> <p>【交通渋滞に関するその他の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・鉄道の連続立体交差事業の着実な推進、新たな路線・区間での実施</li></ul> |

## ○「2020年の東京」計画における交通渋滞施策の概要

＜三環状道路をはじめとする道路ネットワーク整備＞

- 首都高速中央環状線の整備
  - ・ 首都高速道路㈱と共同で施行している品川線の整備を推進し、平成25年度の完成を目指す
- 東京外かく環状道路の整備
  - ・ 関越道～東名高速間について2020年までに完成させる
- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の整備
  - ・ 圏央道の整備促進を国に強く働きかけ、早期に全線開通させる

| 三環状道路の整備率の状況 | 平成22年度末<br>の整備率（％） | 平成32年度末<br>の整備率（％） |
|--------------|--------------------|--------------------|
| 三環状道路        | 47                 | 92                 |
| 首都高速中央環状線    | 84                 | 100                |
| 東京外かく環状道路    | 31                 | 60                 |
| 圏央道          | 46                 | 100                |

- 放射・環状道路、地域高規格道路、都市高速道路等の、骨格となる幹線道路の整備

○2020年（平成32年）の道路網



出典：「2020年の東京」（平成23年12月、東京都）

### ③ 二次評価

表 5-30-5(p5-30-14)、表 5-30-6 (p5-30-16)、表 5-30-7 (p5-30-17) に示すミティゲーションを実施することにより、競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントを概ね解消することが図られる。

東京都は、東京マラソンをはじめとした沿道を利用した大規模スポーツイベントにおける交通渋滞対策の実績があり、一般都市交通と共存した円滑な競技の実施が既になされている。これらの大規模スポーツイベントでの実績・経験を基にした交通規制、流入抑制、広報対策等の交通対策を行うことにより、確実な交通渋滞の解消を図ることができると考えられる。

これらのことから、競技の開催時において、各競技の実施による新たな交通混雑やボトルネックの発生が生じることなく、現況より交通事情の改善がなされると予測される。

したがって、各競技に対する評価結果は、いずれも「+1」とした。

### (4) 評価結果の総括

競技で会場の敷地外の道路を使用する際には、一時的な交通規制を行うため、迂回路の設定、事前の広報などの渋滞緩和計画を立てない場合には、交通渋滞が慢性化している都心部の交通流を更に悪化させる可能性があることから、屋外で実施され、なおかつ会場の敷地外の道路を使用する陸上競技（マラソン）、陸上競技（競歩）、自転車（ロード・レース）、トライアスロンを対象とし、これらの競技の影響による開催中における交通渋滞の評価を定性的に行った。

ハード面の対策として、高度交通システムの導入等により競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等の実施により圏央道内側の主要渋滞ポイントを概ね解消することを図る。

また、ソフト面の対策として、競技当日の広報活動の徹底や流入規制等が挙げられ、東京都は東京マラソンをはじめとした大規模スポーツイベントにおける交通渋滞対策の実績がある。

これらの経験を踏まえた交通対策を立てることにより、確実な渋滞解消を図ることができると考えられる。

各競技に対する交通渋滞の評価結果は表 5-30-8(p5-30-20)に示すとおりである。

陸上競技（マラソン）、陸上競技（競歩）、自転車競技（ロード・レース）、トライアスロンの敷地外で道路を使用する4競技について、一次評価では、開催中において交通渋滞の発生の可能性があるため「-1」となるが、開催期間中におけるオリンピック・レーンの設定等の輸送施策や、三環状道路や主要幹線道路の整備等により、交通流の円滑化が見込めることから、各会場において評価結果は「+1」となる。

表 5-30-8 各競技に対する交通渋滞の評価結果総括表

| 競技  |                   | 評価点(一次)  |            |          |           |          |            | 評価点(二次)  |            |          |           |          |            |
|-----|-------------------|----------|------------|----------|-----------|----------|------------|----------|------------|----------|-----------|----------|------------|
| No. | 名称                | 開催前      |            | 開催中      |           | 開催後      |            | 開催前      |            | 開催中      |           | 開催後      |            |
|     |                   | 工事<br>影響 | 招致等<br>の影響 | 存在<br>影響 | 競技の<br>影響 | 工事<br>影響 | 後利用<br>の影響 | 工事<br>影響 | 招致等<br>の影響 | 存在<br>影響 | 競技の<br>影響 | 工事<br>影響 | 後利用<br>の影響 |
| 1   | 陸上競技（マラソン）        |          |            |          | -1        |          |            |          |            |          | +1        |          |            |
| 2   | 陸上競技（競歩）          |          |            |          | -1        |          |            |          |            |          | +1        |          |            |
| 3   | 自転車競技（ロード・レース）    |          |            |          | -1        |          |            |          |            |          | +1        |          |            |
| 4   | トライアスロン／パラトライアスロン |          |            |          | -1        |          |            |          |            |          | +1        |          |            |
| 5   | 水泳（マラソン 10km）     |          |            |          | —         |          |            |          |            |          | —         |          |            |
| 6   | カヌー（スプリント）／パラカヌー  |          |            |          | —         |          |            |          |            |          | —         |          |            |
| 7   | カヌー（スラローム）        |          |            |          | —         |          |            |          |            |          | —         |          |            |
| 8   | ボート               |          |            |          | —         |          |            |          |            |          | —         |          |            |
| 9   | セーリング             |          |            |          | —         |          |            |          |            |          | —         |          |            |

※競技Noは、表 1-3-38（p1-87）に示す競技Noを表す。

※評価点の目安は以下のとおりである。

- +2: 大きなプラスの影響
- +1: ある程度のプラスの影響
- 0: 中立
- 1: ある程度のマイナスの影響
- 2: 大きなマイナスの影響
- : 予測評価の検討において対象外とした影響
- : 網掛けは非該当項目のため対象外とした影響

### 5-30-3 予測評価（全体計画）

#### （1）評価の指標及び目安

8 km 圏内の全体計画における評価の指標及び目安は、表 5-30-9 に示すとおりであり、渋滞を悪化させないこと、交通流の円滑化が見込めることを評価の基準として評価を行った。

表 5-30-9 評価の指標及び目安

| 評価の指標         | 評価の基準              | 評価の目安 |             |          |           |     |
|---------------|--------------------|-------|-------------|----------|-----------|-----|
|               |                    | － 2   | － 1         | 0        | ＋ 1       | ＋ 2 |
| ボトルネックの解消又は継続 | 現在の交通渋滞及びボトルネックの状況 | －     | ボトルネックの新規発生 | 現況と変わらない | ボトルネックの解消 | －   |

#### （2）予測評価の方法

開催前（工事による影響）、開催中（競技の実施による影響）、開催後（工事による影響）、開催後（後利用による影響）における、8 km 圏全体のボトルネックの解消又は継続について、東京都の施策等をもとに定性的に予測評価を行った。

表 5-30-10 予測評価方法（全体計画）

| 予測評価の時期 |            | 予測評価の方法                                                             |
|---------|------------|---------------------------------------------------------------------|
| 開催前     | 工事による影響    | 工事による交通渋滞への影響について、東京都が計画している輸送インフラ整備計画や工事中の交通渋滞施策等をもとに定性的に予測評価を行った。 |
| 開催中     | 競技の実施による影響 | 競技の実施による交通渋滞への影響について、東京都が計画している大会計画や交通渋滞施策をもとに定性的に予測評価を行った。         |
| 開催後     | 工事による影響    | 工事による交通渋滞への影響について、東京都が計画している輸送インフラ整備計画や工事中の交通渋滞施策等をもとに定性的に予測評価を行った。 |
|         | 後利用による影響   | 競技会場の後利用による交通渋滞への影響について、東京都が計画している交通渋滞施策をもとに定性的に予測評価を行った。           |

#### （3）予測評価の結果

##### 1) 開催前（工事の実施による影響）

##### ① 一次評価

8 km 圏内の会場について、工事の実施に伴う工事用車両のピーク台数の合計台数は、約 4,100 台/日程度と想定されるが、8 km 圏内全体の交通量と比較して大きな影響とならないと考えられる（ピーク台数の設定については「5-1 大気」表 5-1-28（p5-1-68）を参照）。

また、東京都は、開催前における工事実施時において、工事用車両の出入口の位置設定に配慮するなど会場周辺を対象に適切な渋滞緩和策をとることとしている。

ただし、8 km 圏内全体の交通流の円滑化の更なる施策が無い場合、工事の実施によって交通流が円滑化すること見込めないと想定される。

したがって、全体計画の評価結果は「0」とした。

## ② ミティゲーション

交通渋滞に関するミティゲーションの内容は、表 5-30-11 (p5-30-22)に示すとおりである。三環状道路及び骨格幹線道路の主要部分を整備することにより、区部の平均旅行速度が向上することになる。

表 5-30-11 交通渋滞に関するミティゲーションの内容（全体計画）

| 会場区分 | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全体計画 | <p>【計画中の輸送インフラの整備】</p> <p>東京都は、新たな都心戦略である「2020 年の東京」やその他各種計画を策定し、様々な主要な輸送インフラの整備を進めている。こうした整備は、2020 年東京大会とは関係なく、都市の戦略的な計画の一環として実行されるものであるが、2020 年東京大会の計画及びビジョンはこれに沿ったものとしているため、2020 年東京大会に必要な輸送インフラサービスが効果的に提供される。</p> <p>整備が進められている主な輸送インフラは以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京都は、交通渋滞を解消するため、2020 年までに三環状道路の約 9 割を完成させる等のネットワークの整備を強力に推進する。首都高速中央環状品川線は 2013 年度に完成する予定である。</li> <li>・首都高速晴海線は 2015 年に完成予定であり、大会開催時には選手村と各種競技場を結ぶ重要な輸送ルートの一部となる。首都高速晴海線により移動時間が大幅に改善され、例えば、選手村から夢の島競技場までの所要時間は、現在の 15 分から 10 分に短縮される。</li> <li>・環状 2 号線は、2020 年までに完成し、オリンピックスタジアムパークや選手村と I O C ホテルを結ぶ大動脈となり、大会開催時にはオリンピック・レーンも設置することにより、移動時間を大幅に短縮される。例えば、選手村からオリンピックスタジアムまでの所要時間は、15 分短縮し、10 分となる。</li> <li>・環状 3 号線は、オリンピックスタジアムパークや東京体育館に接続する主要幹線道路となる。</li> </ul> <p>【交通渋滞に関するその他の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道の連続立体交差事業の着実な推進、新たな路線・区間での実施</li> </ul> <p>【工事中における交通規制計画の策定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・工事中において工事用車両の迂回路を設定する</li> <li>・工事用の搬出入口等の合理的計画による車両交通時間・場所の分散化</li> </ul> |

### ③ 二次評価

表 5-30-11 (p5-30-22) に示すミティゲーションにより、8 km 圏内の平均旅行速度が向上することにより、渋滞が緩和されることが考えられる。

また、東京都は工事中において迂回路を設定することや、工事用車両の搬出入口の合理的経計画などの渋滞を悪化させない交通規制計画を策定・実施することにより、ボトルネック箇所が現況より解消されると予測されることから、全体計画の評価結果は「+ 1」とした。

## 2) 開催中（競技の実施による影響）

### ① 一次評価

2020 年東京大会の開催に伴い、短期間のうちに約 860 万人の訪問者が集まり、その多くが東京以外から訪れ、特に、開会式や閉会式をはじめとして、都内各地で同時期に大観衆が集まることにより、既存の交通網に新たな負担が加わると考えられる。

そのため、大会運営中の様々な交通規制や大会運営車両の増加により、渋滞緩和計画を何も立てない場合には、交通渋滞が慢性化している都心部の交通流を悪化させる可能性があると予測される。

したがって、全体計画の開催中の評価結果は、いずれも「- 1」とした。

### ② ミティゲーション

2020 年東京大会では、28 の競技会場が選手村から半径 8 km 圏内に配置されており、構想段階において輸送に関しての影響が最小限になるような計画となっている。

また、通常の輸送需要ピークが通常月よりも減る夏季休暇の集中時期に開催期間を合わせることで、2020 年大会による交通需要増にも対応できる計画となっている。

開催中における交通渋滞のミティゲーションは、表 5-30-12 (p5-30-24) に示すとおりである。また、「1) 開催前（工事の実施による影響）」(p5-30-21) と同様に輸送インフラの整備を行う。

表 5-30-12 交通渋滞に関するミティゲーションの内容（全体計画）

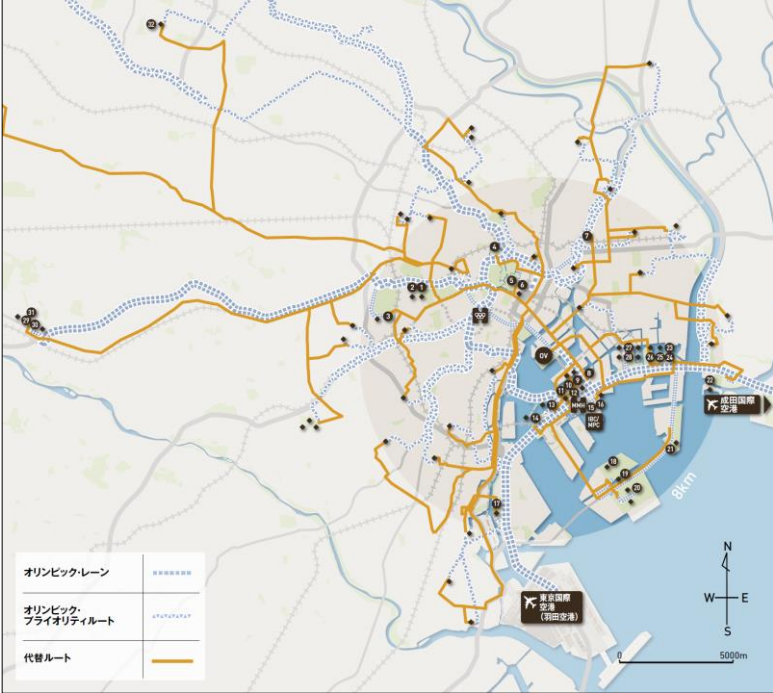
| 会場区分      | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|-----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全会場<br>共通 | <p>【開催時の交通規制等】</p> <p>○オリンピック・レーン等の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての競技会場や練習会場、オリンピック主要施設および空港等は、慎重に設定されたオリンピック・レーン及びオリンピック・プライオリティ・ルートにより接続される。</li> <li>オリンピック・レーンは選手村と競技会場、主要施設及び空港とを結ぶ路線に設定され、オリンピック・プライオリティ・ルートは、選手村と練習会場とを結ぶ路線に設定される。</li> </ul> <p>（オリンピック・レーン：約 317 km）</p> <p>指定された大会関係車両が専用に使用する車線。このうち、約 150 kmについては、選手村と成田国際空港及び武蔵野の森地区を結ぶために設定された路線である。</p> <p>（オリンピック・プライオリティ・ルート：約 290 km）</p> <p>指定された大会関係車両が優先的に走行可能な道路</p> <p>○代替ルートの用意</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京の高密度な道路網を活用し、主要ルートに支障をきたすような不測の事態に対応可能な高速道路・主要幹線道路を代替ルートとして数多く用意する。また、ルート変更等を迅速に周知可能なカーナビゲーションシステムをすべての大会車両に搭載し、大会関係者の円滑かつ確実に不断な移動を保証するようにする。</li> </ul>  |

表 5-30-12(2) 交通渋滞に関するミティゲーションの内容

| 会場区分      | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 全会場<br>共通 | <p>【開催時の交通規制等】</p> <p>○交通管制の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催時には、警視庁交通管制センターがオリンピック輸送センターと連携して半径 8 km 圏内外の交通流等を制御し、核輸送システムの定時性・信頼性を確保する。具体的には、オリンピック輸送センターに集積した選手の移動情報や道路の渋滞情報を基に、警視庁交通管制センターが必要に応じて、信号の制御などの交通管制により交通流量等を調整する。</li> <li>・公共車両優先システム（PTPS）を用いて、バス等の優先走行を確保する。</li> </ul> <p>○交通需要の管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会開催時における大会関係車両の定時運行の確保と一般の市民生活や経済活動への影響を最小限とするため、関係機関と連携し、交通量約 10% の低減を目標に、一般車両の都心部への流入を抑制する交通需要マネジメントを実施する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報キャンペーンを通じた、代替ルートの利用の奨励</li> <li>・公共交通機関の積極的利用の呼びかけ</li> <li>・企業の夏季休暇時期及び業務時間の調整</li> <li>・企業への納品時間の変更要請</li> <li>・市民への需要抑制の協力依頼等の実施</li> </ul> </li> </ul> <p>○会場周辺の駐車場の抑制</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会場周辺における駐車場の抑制については、事前の交通対策の広報や、警察による交通規制及び違法駐車取り締まり等を実施する。</li> <li>・車で来場希望の観客には、パーク＆ライドを提供する。観客は、東京郊外に設置する専用駐車場で無料の公共交通機関に乗り換え、各競技会場にアクセスする。チケット購入時には、パーク＆ライドの利用も一括予約できる体制を整える等、観客によって利便性の高いシステムを構築する。</li> </ul> <p>○観客及び一般市民への輸送情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大会期間中の交通手段の周知によって公共輸送機関の利用促進を図るため、大会開催の 1 年前から、パンフレット、新聞、テレビ、インターネット等を通じた広報活動を開始する。さらに、6 カ月前からは集中的なキャンペーンを行う。大会に伴う交通により影響を受ける地域住民には代替交通手段について役立つ情報を提供し影響を最小限に抑える。</li> <li>・大会開催期間中は、オリンピック輸送センターが警視庁交通管制センター、鉄道事業者等と連携してカーナビゲーションシステムや鉄道の車両情報システム等を通じて様々な交通情報を情報提供する。</li> </ul> |

表 5-30-12(3) 交通渋滞に関するミティゲーションの内容

| 会場区分               | ミティゲーションの内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 全会場<br>共通          | <p>【道路交通システムの導入】</p> <p>○高度道路交通システム（ITS）の導入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東京では、最先端の情報通信技術を駆使したITSにより、交通管理の効率化や道路交通の安全性、効率性、快適性の向上を実現しており、これらの技術基盤を最大限に活用して効率的に輸送システムの運営を行う。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>道路交通情報通信システム（VICS）</td><td> <p>VICSは、カーナビゲーションシステムの画面上に道路の渋滞などの状況を踏まえた最適な走行ルートを表示するシステムであり、日本においては既に約3,400万台の車に搭載されるなど広く普及しているシステムである。</p> <p>2020年東京大会においては、最新鋭のサービスを利用可能なカーナビゲーションシステムを全車両に搭載し、安心して信頼性の高い関係者への輸送サービスを提供する。</p> </td></tr> <tr> <td>自動料金収受システム（ETC）</td><td> <p>ETCは、料金所に停車することなく自動的に料金を収受するシステムであり、東京に（首都高速道路）における利用率は既に約9割に達している。2020年東京大会においては、全大会関係車両に搭載し、円滑な大会関係者の移動を実現する。</p> </td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>交通管制面では、下記の機能から構成される、警察が推進する新交通管理システム（UTMS）が中心的な役割を果たす。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>交通情報提供システム（ITCS）</td><td> <p>車両感知器等から収集した交通情報を基に、最適な信号制御を行うシステムであり、物流の効率化、大量公共輸送機関の利用促進など円滑で安全な交通輸送を実現する。</p> </td></tr> <tr> <td>交通情報提供システム（AMIS）</td><td> <p>都内の道路に設置している光ビーコン、交通情報収集カメラなどを2020年までに増設し、収集する交通情報をさらに高密度化・高性能化し、ドライバーに対して、渋滞、交通規制、目的地までのりよこ時間などの交通情報を、光ビーコンや情報板等を通じてリアルタイムに提供する。</p> </td></tr> <tr> <td>公共車両優先システム（PTPS）</td><td> <p>信号制御などにより、バスなどの公共車両の優先的通行を実施し、定時性を確保するシステムであり、バスなどの運行状況を把握しつつ、一般道路交通の流れと、公共車両を適切に管理することにより、円滑な輸送を実現する。</p> </td></tr> <tr> <td>車両運行管理システム（MOC S）</td><td> <p>第18回長野オリンピック冬季競技大会においても活用された物流の効率化を図るシステムであり、大会時においても活用される。</p> </td></tr> </table> | 道路交通情報通信システム（VICS） | <p>VICSは、カーナビゲーションシステムの画面上に道路の渋滞などの状況を踏まえた最適な走行ルートを表示するシステムであり、日本においては既に約3,400万台の車に搭載されるなど広く普及しているシステムである。</p> <p>2020年東京大会においては、最新鋭のサービスを利用可能なカーナビゲーションシステムを全車両に搭載し、安心して信頼性の高い関係者への輸送サービスを提供する。</p> | 自動料金収受システム（ETC） | <p>ETCは、料金所に停車することなく自動的に料金を収受するシステムであり、東京に（首都高速道路）における利用率は既に約9割に達している。2020年東京大会においては、全大会関係車両に搭載し、円滑な大会関係者の移動を実現する。</p> | 交通情報提供システム（ITCS） | <p>車両感知器等から収集した交通情報を基に、最適な信号制御を行うシステムであり、物流の効率化、大量公共輸送機関の利用促進など円滑で安全な交通輸送を実現する。</p> | 交通情報提供システム（AMIS） | <p>都内の道路に設置している光ビーコン、交通情報収集カメラなどを2020年までに増設し、収集する交通情報をさらに高密度化・高性能化し、ドライバーに対して、渋滞、交通規制、目的地までのりよこ時間などの交通情報を、光ビーコンや情報板等を通じてリアルタイムに提供する。</p> | 公共車両優先システム（PTPS） | <p>信号制御などにより、バスなどの公共車両の優先的通行を実施し、定時性を確保するシステムであり、バスなどの運行状況を把握しつつ、一般道路交通の流れと、公共車両を適切に管理することにより、円滑な輸送を実現する。</p> | 車両運行管理システム（MOC S） | <p>第18回長野オリンピック冬季競技大会においても活用された物流の効率化を図るシステムであり、大会時においても活用される。</p> |
| 道路交通情報通信システム（VICS） | <p>VICSは、カーナビゲーションシステムの画面上に道路の渋滞などの状況を踏まえた最適な走行ルートを表示するシステムであり、日本においては既に約3,400万台の車に搭載されるなど広く普及しているシステムである。</p> <p>2020年東京大会においては、最新鋭のサービスを利用可能なカーナビゲーションシステムを全車両に搭載し、安心して信頼性の高い関係者への輸送サービスを提供する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |
| 自動料金収受システム（ETC）    | <p>ETCは、料金所に停車することなく自動的に料金を収受するシステムであり、東京に（首都高速道路）における利用率は既に約9割に達している。2020年東京大会においては、全大会関係車両に搭載し、円滑な大会関係者の移動を実現する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |
| 交通情報提供システム（ITCS）   | <p>車両感知器等から収集した交通情報を基に、最適な信号制御を行うシステムであり、物流の効率化、大量公共輸送機関の利用促進など円滑で安全な交通輸送を実現する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |
| 交通情報提供システム（AMIS）   | <p>都内の道路に設置している光ビーコン、交通情報収集カメラなどを2020年までに増設し、収集する交通情報をさらに高密度化・高性能化し、ドライバーに対して、渋滞、交通規制、目的地までのりよこ時間などの交通情報を、光ビーコンや情報板等を通じてリアルタイムに提供する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |
| 公共車両優先システム（PTPS）   | <p>信号制御などにより、バスなどの公共車両の優先的通行を実施し、定時性を確保するシステムであり、バスなどの運行状況を把握しつつ、一般道路交通の流れと、公共車両を適切に管理することにより、円滑な輸送を実現する。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |
| 車両運行管理システム（MOC S）  | <p>第18回長野オリンピック冬季競技大会においても活用された物流の効率化を図るシステムであり、大会時においても活用される。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |                    |                                                                                                                                                                                                      |                 |                                                                                                                        |                  |                                                                                     |                  |                                                                                                                                          |                  |                                                                                                               |                   |                                                                    |

### ③ 二次評価

表 5-30-11(p5-30-22)に示すミティゲーションにより、東京都は競技開催時の交通輸送の円滑化を図るとともに、三環状道路の整備等により圏央道内側の主要渋滞ポイントを概ね解消することを目指す。

また、表 5-30-12(p5-30-24～26)に示すミティゲーションにより、東京都はオリンピック・レーンの設定等、開催中の交通輸送の円滑化を図っていく。

これらのことから、各競技の実施によって渋滞が悪化することではなく、2020年東京大会の開催時にはボトルネックが現況より解消されると予測される。

したがって、8km圏全体の開催中における評価結果は、いずれも「+1」とした。

### 3) 開催後（工事の実施による影響）

#### ① 一次評価

8 km圏内の会場について、仮設物の撤去等の工事の実施に伴う工事用車両のピーク台数の合計台数は、約 5,300 台/日程度と想定されるが、8 km圏内全体の交通量と比較して大きな影響としないと考えられる（※ピーク台数の設定については「5-1 大気」表 5-1-28（p5-1-68）を参照）。

また、「1) 開催前（工事の実施による影響）」（p5-30-21）と同様に、2020 年東京大会の開催後における工事実施時には、工事用車両の出入口の位置設定に配慮するなど、適切な渋滞緩和策をとることにしている。

ただし、8 km 圏内全体の交通流の円滑化を図るためのさらなる施策が無い場合、工事の実施によって交通流が円滑化することは見込めないと予測される。したがって、全体計画の評価結果は「0」とした。

#### ② ミティゲーション

ミティゲーションは、「1) 開催前（工事の実施による影響）」（p5-30-21）と同様である。

#### ③ 二次評価

表 5-30-11（p5-30-22）に示すミティゲーションを実施することにより、8 km 圏内の平均旅行速度が向上する。

さらに、工事中において迂回路を設定するなど渋滞を悪化させない交通規制計画を策定・実施することにより、ボトルネックの発生が現況より解消されると予測されることから、全体計画の評価結果は「+1」とした。

#### 4) 開催後（後利用による影響）

##### ① 一次評価

既存の会場と、仮設会場のうち現状復帰されるものについては、開催前と同じ利用となるため、現況と変わらない。また、新設恒久会場と、後利用時に新たな公共利用がなされる仮設会場については分散しており、利用目的も異なるため、後利用により近隣の渋滞を悪化させることはない想定される。このことから、一次評価は「0」とした。

##### ② ミティゲーション

開催後のミティゲーションは表 5-30-11(p5-30-22)に示すとおりであり、「1) 開催前(工事の実施による影響)」(p5-30-21)と同様である。

##### ③ 二次評価

表 5-30-11 (p5-30-22)に示した対策により、開催後にも渋滞解消に寄与すると想定されることから二次評価は「+1」とした。

#### (4) 評価結果の総括

全体計画に対する交通渋滞の評価結果を表 5-30-13(p5-30-29)に示す。

8 km圏内の交通渋滞について、工事や競技、後利用時における、8 km 圏全体のボトルネックの解消又は継続について、東京都が計画している大会計画や交通渋滞施策をもとに定性的に予測評価を行った。

2020 年東京大会の開催に伴い、短期間のうちに約 860 万人の訪問者が集まり、その多くが東京以外から訪れ、特に、開会式や閉会式をはじめとして、都内各地で同時期に大観衆が集まることにより、既存の交通網に新たな負担が加わると考えられる。

これに対して、東京都は、構想段階において輸送に関する影響が最小限になるような配置計画を立て、輸送需要ピークが通常月よりも減る夏季休暇の集中時期に開催期間を合わせることにより、2020 年大会による交通需要増に対応した大会計画としている。

東京都は、会場の整備に関する工事の実施時には交通規制計画を策定し、開催時にはオリンピック・レーン等の設定や交通管制の徹底等により、競技開催時の円滑な交通輸送を図る。また、東京都は、三環状道路及び骨格幹線道路の主要部分を整備することにより、交通流の円滑化を図る。

これらの施策により、ボトルネックの発生が現況より解消されると予測される。

一次評価では、開催中において交通渋滞の発生の可能性があるため「-1」となっているが、開催期間中におけるオリンピック・レーンの設定等の輸送施策や、三環状道路及び主要幹線道路の主要部分の整備等のミティゲーションにより、渋滞を悪化させず、交通流の円滑化が見込めることから、いずれの時期においても「+1」となる。

表 5-30-13 全体計画に対する交通渋滞の評価結果総括表

| 評価対象 | 評価点(一次)  |            |          |           |          |            | 評価点(二次)  |            |          |           |          |            |
|------|----------|------------|----------|-----------|----------|------------|----------|------------|----------|-----------|----------|------------|
|      | 開会前      |            | 開催中      |           | 開催後      |            | 開会前      |            | 開催中      |           | 開催後      |            |
|      | 工事<br>影響 | 招致等<br>の影響 | 存在<br>影響 | 競技の<br>影響 | 工事<br>影響 | 後利用<br>の影響 | 工事<br>影響 | 招致等<br>の影響 | 存在<br>影響 | 競技の<br>影響 | 工事<br>影響 | 後利用<br>の影響 |
| 全体計画 | 0        |            |          | -1        | 0        | 0          | +1       |            |          | +1        | +1       | +1         |

※評価点の目安は以下のとおりである。

- +2: 大きなプラスの影響
- +1: ある程度のプラスの影響
- 0: 中立
- 1: ある程度のマイナスの影響
- 2: 大きなマイナスの影響
- : 予測評価の検討において対象外とした影響
- : 網掛けは非該当項目のため対象外とした影響

